

☆ せら夢公園自然観察園に咲いた秋の七草 ☆

萩の花 尾花 葛花 撫子の花 女郎花 また 藤袴 朝顔の花

はぎのはな おばなくずばな なでしこのはな

おみなえし また ふじばかま あさがおのはな

この歌は、日本最古の歌集・万葉集に収められている山上憶良(やまのうえのおくら)の歌で、秋の七草を詠ったものです。尾花はススキの穂のことをいい、また朝顔はキキョウのことであると考えられています。秋の七草は、古くの宮廷人が里を彩る花々に叙情を託して選んだものです。

自然観察園では、これら7種の内、**ハギ、ススキ、クズ、オミナエシ、キキョウ**の5種を見ることができました。また、フジバカマは野生ではほとんど見られなくなっていますが、フジバカマと同じグループ(同属)のサワヒヨドリは自然観察園にも咲いています。



ヤマハギ



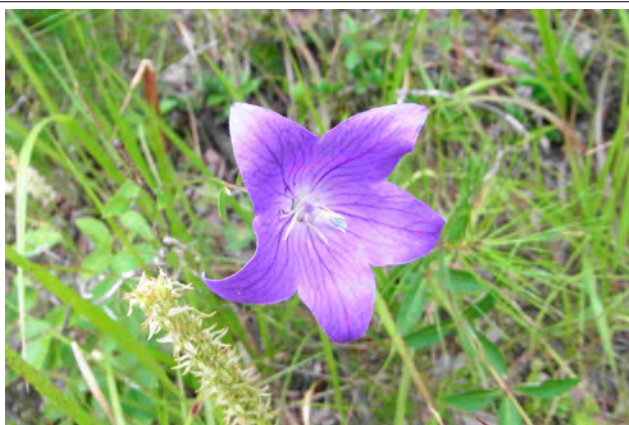
ススキ



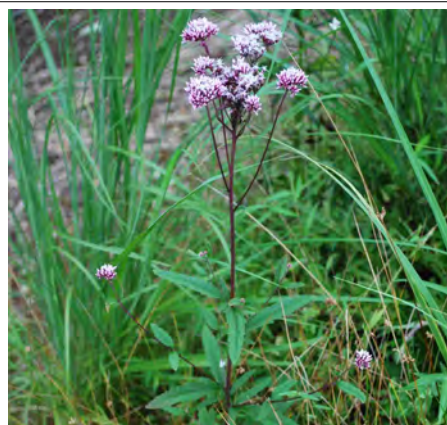
クズ



オミナエシ



キキョウ



サワヒヨドリ